

DNP



DNP Report vol.103

株主通信 (証券コード:7912)

[特集] DNPの環境配慮包材

DNPグループの総合力を発揮して、
人々の暮らしや企業活動に
「なくてはならない価値」を
提供し続けていきます。

代表取締役社長 北島 よしなり 義斉



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

全世界で新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、「新常态=ニューノーマル」の構築についての取り組みが進んでいます。一方、国内の夏の暑さや豪雨など、気候変動による影響も大きくなっており、さまざまな課題の解決が切実に求められていると実感しています。

DNPグループは、社会や環境、人々の価値観などが大きく変化するなかで、「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。」という企業理念に基づき、人々の期待に応えるとともに、社会課題を解決する新しい価値の提供に努めています。そして、DNPの製品・サービスを、生活者一人ひとりの身近に常にあたりまえに存在する「なくてはならない価値」にしていきたいと考え、さまざまな変革に挑戦し続けていきます。

世界には現在、新型コロナウイルスだけでなく、多くの変動要因(リスク)が存在しています。私たちはそれらをしっかりと把握し、マイナスの影響を抑えるだけでなく、先んじて課題解決に取り組み、より良い社会、より快適な暮らしにつなげていきます。

今年度は、2025年3月期に営業利益を750億円とし、安定的にROE5.0%以上を確保することをめざして、3か年の新たな「中期経営計画」をスタートさせました。『P&Iイノベーション』による価値創造と「成長を支える経営基盤の強化」の2つを基本方針として、具体的な施策を展開していきます。

価値の創造については、「知とコミュニケーション」「食とヘルスケア」「住まいとモビリティ」「環境とエネルギー」の4つの成長領域を中心に、収益性と市場成長性の2つの軸でDNPの事業が生み出す価値を見直し、4つの「注力事業」を設定しています。

今回の「DNP Report」では、この注力事業のうち、環境関連事業の環境配慮包材の取り組みを中心に紹介します。2020年3月に「DNPグループ環境ビジョン2050」を策定し、脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現をめざして、さまざまな取り組みを加速させており、資源の循環・CO₂の削減・自然環境の保全の3つの価値を提供する「DNP環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING」を展開しています。ぜひ、4-5ページの特集をご覧ください。

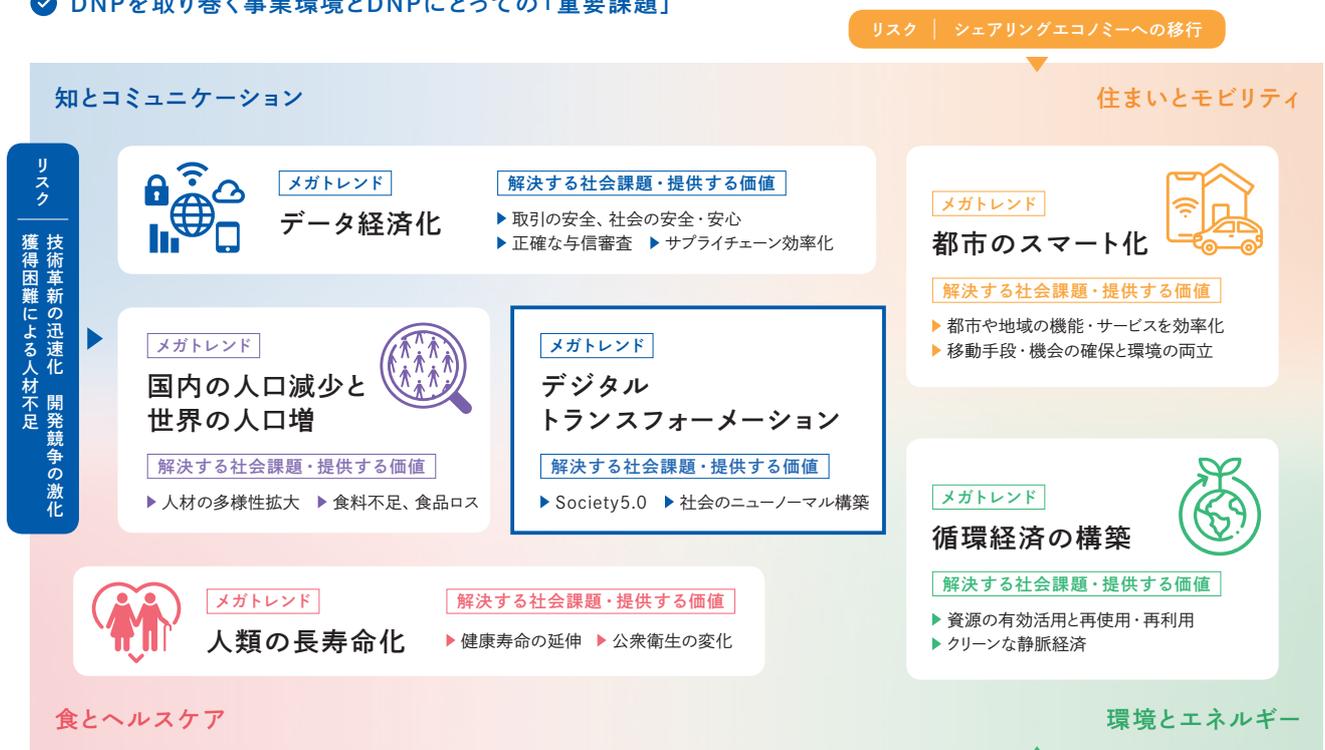
2021年3月期の連結業績予想につきましては、再度の社会的制限が行われなことを前提として、売上高を4.4%減の1兆3,400億円、営業利益を28.9%減の400億円、経常利益を24.7%減の480億円、親会社株主に帰属する当期純利益を69.8%減の210億円といたしました。

8月5日に発表した第1四半期の結果については、売上高が前年同期比6.1%減の3,235億円、営業利益が30.2%減の96億円、経常利益が20.3%減の135億円、

親会社株主に帰属する四半期純利益が58.9%減の74億円となりました。

私たちDNPは引き続き、グループの総合力を発揮することにより、リスクをチャンスに変えることで、新しい価値を創出し、中長期的な成長につなげていきます。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

📌 DNPを取り巻く事業環境とDNPにとっての「重要課題」



📌 4つの成長領域における主な「注力事業」





Focus DNP

[特集]

DNPの環境配慮包材



DNPは経済的な発展と地球環境の保全を両立させる持続可能な社会の実現に向けて、環境に配慮した製品・サービスの開発に注力してきたほか、2020年3月には「DNPグループ環境ビジョン2050」を策定しました。

社員一人ひとりが事業と環境の関わりを強く意識して、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現をめざし、さまざまな取り組みを加速させていきます。その一環として、人々の暮らしに身近なパッケージ分野では、利便性追求と環境負荷低減の両立に向けて、DNPオリジナルの環境配慮包材を開発・提供しています。

DNPの事業化テーマとターゲット市場

▶ 気候変動対応関連事業

1.5℃ 地球温暖化を抑制するソリューションの提供
*バリ協定での地球の気温上昇抑制目標(2015年COP21)

▶ 環境関連事業

475兆円 環境負荷の低減と循環型社会の実現に向けた価値創出
*2030年までに循環経済により産み出される経済効果(2016アクセンチュア調査報告書)

▶ 循環型社会実現に向けた各種事業

0 生態系の保全にもつながる資源・プラスチック循環等
*2050年までに海洋プラスチックによる新たな汚染をゼロに(2019年6月、G20大阪サミット「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」)

ピックアップニュース

DNP企業広告「未来が楽しみになってきた!!」CMシリーズを開始

2020年7月13日から放送

CM初出演の東大生・鈴木光さんと

DNP社員が「未来のあたりまえ」を紹介

DNPは2020年7月13日(月)に、企業CMシリーズ「未来が楽しみになってきた!!」の放送を開始しました。このCMは、クイズ番組などで活躍中の現役東大生、鈴木光さんに出演していただき、DNP社員と「未来のあたりまえ」を紹介していくものです。まず、「GREEN PACKAGING」篇と未来のフルカラーディスプレイの「伸縮エレクトロニクス」篇を制作しました。テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」で放送する(9月末まで)ほか、YouTubeのDNP公式アカウント等でも公開しています。

※YouTube DNP公式アカウント:

【CMシリーズ】DNP企業広告「未来が楽しみになってきた!!」
(GREEN PACKAGING 篇 / 鈴木光さん出演 / 30秒)



https://www.youtube.com/watch?v=CBLM6_om3BE



▲今回のCMシリーズでは、鈴木光さんとDNP社員が、より良い未来をイメージして対話を行い、新しい価値の創出に向けて挑戦するDNPの姿を発信します。撮影では、「未来のあたりまえ」を生み出して、明るく安心できる社会をつくってきたいという思いを共有し、対話もはずみました。CM初出演となる鈴木光さんの真剣な表情や自然な笑顔がとても魅力的です。



持続可能な社会の実現に向けて—— 使いやすく機能的で、地球環境にも優しい「価値」を提供

DNP環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING

DNPは、「資源の循環」「CO₂の削減」「自然環境の保全」という3つの提供価値で、循環型社会の実現をめざす「DNP環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING」を展開しています。

原料の一部を石油由来からサトウキビ由来に置き替えた「DNP植物由来包材 バイオマテック®」シリーズのほか、単一素材のプラスチック(モノマテリアル)によるリサイクルに適した包材、酸素や水蒸気のバリア性等を高めて軽量化・薄層化や長期保存を実現した包材など、多様なラインアップを開発・提供し、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出量の削減や資源の循環を図っています。また、人々の意識や行動を変えるデザインや仕組みづくりも推進し、モノづくりとサービス開発を組み合わせて新しい価値を提供することで、持続可能な

社会の実現に貢献していきます。

「CO₂の削減」においては、原材料調達から製造、廃棄までの製品ライフサイクル全体で排出量削減を推進しています。DNPが開発したバイオマテックシリーズは、石油由来のプラスチックと比べて、CO₂の排出量をライフサイクル全体で約10%以上削減します。2019年度は国の環境戦略としてバイオマスプラスチック導入の数値目標が示されたことなどにより、企業の環境問題への関心が一層高まり、バイオマテックシリーズの採用が増えました。その結果、森林239.4ヘクタール(東京ドーム51個分、杉21.4万本分*)の吸収量にあたる3,000tのCO₂削減となりました。今後、バイオマテックの拡販などをさらに進め、2020年度には5,000t以上のCO₂削減をめざします。

※1: 関東森林管理局のホームページ「森林の二酸化炭素吸収力」より
<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/saitama/knowledge/breathing.html>



▲サトウキビから砂糖を精製した際の副産物である植物由来の原料(廃糖蜜)を一部に使用して、石油資源の使用量を削減します。植物は、成長過程で光合成によってCO₂を吸収するため、包材使用後の焼却時に出るCO₂と相殺する(カーボンニュートラル)ことができ、製品のライフサイクル全体でのCO₂の削減に有効です。

▶通常は複数のプラスチック素材から構成されるフィルムパッケージを、単一素材のプラスチックで構成した、リサイクルに適した包材です。DNPは高度な印刷技術を活かして、バリア性や耐熱性、強度などの機能を付与しました。



ピックアップニュース

2020年7月14日発表

20年連続でESG投資の「FTSE4Good Global Index」構成銘柄に選定

DNPは今回、20年連続で、世界的に権威のある社会的責任投資(Socially Responsible Investment:SRI)の指標である「FTSE4Good Global Index」の構成銘柄に選ばれました。この指標は、環境・社会・ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。

DNPIは、そのほか「MSCI ESG Leaders Indexes」(アメリカ)、「ETHIBEL Investment Register」(ベルギー)、「FTSE Blossom Japan Index」(日本)にも選定されるなど、社会課題を解決し、人々の期待に応える新しい価値の提供に取り組み、持続可能な発展につながる事業を展開する企業として、国内外から高い評価を受けています。



2020年8月31日 日本語版PDF公開

「DNPグループ統合報告書2020」を発行しました

DNPは、中期経営計画や2020年3月期の企業活動等について、株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にお伝えする「DNPグループ統合報告書2020」を発行しました。

本誌は、財務情報に加え、環境・社会・ガバナンス(ESG)を含めたDNPの活動全体についての年次報告書です。DNPは本誌のほか、有価証券報告書、株主通信、環境報告書等の発行物や、さまざまな対話の機会を通じて説明責任を果たし、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めていきます。



DNPのウェブサイトでご覧いただけます。

◎日本語版PDFのダウンロードページURL

<https://www.dnp.co.jp/ir/library/annual/index.html>

※英語版PDFおよび、日本語版・英語版の冊子は追って発行します。

ディーエヌペンギン

「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント

2021年版「DNPenguin卓上カレンダー」を株主の皆様へプレゼントいたします。DNPenguinは、ウェブサイトや展示会などでDNPの製品やサービスをわかりやすく紹介するオリジナルキャラクターです。

プレゼントご希望の方は、同封のハガキに、お名前、電話番号、ご住所、株主番号(同封の「送付票」右下に記載されている9桁の番号)を全てご記入いただき、同封の保護シールを貼付のうえ、ご返送ください。

※お送りするカレンダーは、お一人様1部、日本国内の発送に限らせていただきます。※株主様ご本人のお名前でお申込みください。※株主登録のないお名前でお申込みされた場合および記入項目に不備や空欄がある場合は、お届けできないことがあります。※発送は2020年12月頃を予定しています。

お申込み締切 2020年10月31日(土) **当日消印有効** ※締切日にご注意ください。

お問い合わせ 「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント事務局
電話:0120-300-054(フリーダイヤル)

お問い合わせ受付期間:2020年10月2日~2021年2月1日(土・日・祝日除く10:00~17:00受付)
※2020年12月29日~2021年1月4日は年末年始休暇のため、お問い合わせ受付はお休みとさせていただきます。

〈お申込み情報の取扱いについて〉

ハガキにご記入いただきました情報は、「DNPenguin卓上カレンダー」のお届けに利用するとともに、2021年6月以降の株主総会に関するお電話でのご案内に利用させていただくことがあります。なお、この目的の実施のためにDNPのグループ会社に業務を委託する以外には、第三者へのお申込み情報の提供は行いません。DNPの「個人情報保護方針」につきましては、ウェブサイトをご覧ください。

大日本印刷株式会社個人情報保護方針URL <https://www.dnp.co.jp/privacy/>
大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室
個人情報取扱責任者 IR・広報本部 IR室長



縦 約14cm×横 約19cm
紙製カレンダー

デザインは変更になる場合があります。ご了承ください。

同封のハガキ

| | | | | | |
|-----------|--|------|--|-----|--|
| お名前 | | 電話番号 | | ご住所 | |
| 株主番号 | | | | | |
| 052022222 | | | | | |

株主番号をご記入ください



送付票右下

第1四半期決算のご報告 (2020年4月1日～2020年6月30日)

連結業績の概況 (単位:億円)

| 科目 | 当第1四半期 | 前第1四半期 |
|----------------------|--------|--------|
| 売上高 | 3,235 | 3,445 |
| 営業利益 | 96 | 138 |
| 経常利益 | 135 | 170 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 74 | 180 |

連結業績の予想 (単位:億円)

| 科目 | 2021年3月期通期 (増減率) |
|---------------------|------------------|
| 売上高 | 13,400 (▲4.4%) |
| 営業利益 | 400 (▲28.9%) |
| 経常利益 | 480 (▲24.7%) |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 210 (▲69.8%) |

1株当たり当期純利益74円76銭

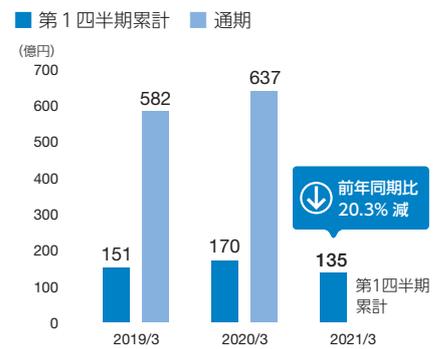
連結売上高



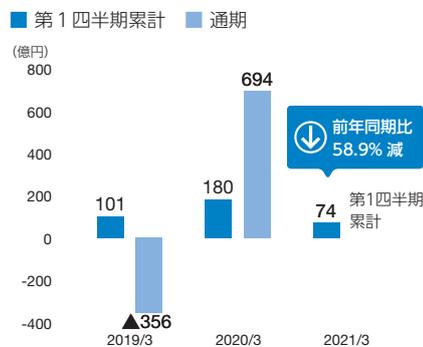
連結営業利益



連結経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益(▲純損失)



連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

| 科目 | 当第1四半期 連結会計期間末 | 前連結会計年度末 |
|-------|-------------------|----------|
| 資産の部 | 17,209 | 17,217 |
| 流動資産 | 8,403 | 8,840 |
| 固定資産 | 8,805 | 8,377 |
| 負債の部 | 7,275 | 7,531 |
| 流動負債 | 4,460 | 4,806 |
| 固定負債 | 2,814 | 2,724 |
| 純資産の部 | 9,934 | 9,685 |

印刷事業



BPO事業(イメージ)



リチウムイオン電池用バッテリーパウチ



光学フィルム

飲料事業



飲料

情報コミュニケーション部門

| | |
|-------|---------|
| 売上高 | 1,721億円 |
| 前年同期比 | 9.7%減 |
| 営業利益 | 35億円 |
| 前年同期比 | 48.0%減 |

IDカードやBPO関連の事業が順調に拡大しましたが、広告需要の縮小などの影響より、減収・減益となりました。

生活・産業部門

| | |
|-------|-------|
| 売上高 | 909億円 |
| 前年同期比 | 4.3%減 |
| 営業利益 | 17億円 |
| 前年同期比 | 6.3%減 |

リチウムイオン電池用バッテリーパウチが増加したものの、業務用包材などが減少し、減収・減益となりました。

エレクトロニクス部門

| | |
|-------|-------|
| 売上高 | 484億円 |
| 前年同期比 | 0.8%増 |
| 営業利益 | 95億円 |
| 前年同期比 | 8.6%減 |

有機ELディスプレイ向け光学フィルムなどが増加した一方、半導体製品用フォトマスクが減少し、増収・減益となりました。

飲料部門

| | |
|-------|--------|
| 売上高 | 124億円 |
| 前年同期比 | 5.3%増 |
| 営業利益 | 0.3億円 |
| 前年同期比 | 90.3%増 |

小型PETボトル製品や新製品のアルコール飲料「檸檬堂」の販売数量の増加などにより、増収・増益となりました。

DNPのウェブサイトのご案内

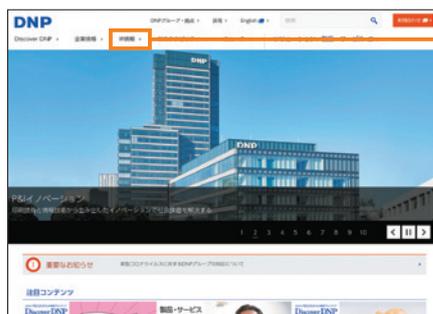
当社ウェブサイトでは、最新ニュースやIR情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しています。



● DNPのウェブサイトURL

トップページ → <https://www.dnp.co.jp/>

株主通信「DNP Report」はこちら → <https://www.dnp.co.jp/ir/library/dnp-report/>



〈トップページ〉



〈IR情報トップページ〉

会社情報

| | |
|---------|---|
| 商号 | 大日本印刷株式会社 (Dai Nippon Printing Co., Ltd.) |
| 本社所在地 | 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 |
| ウェブサイト | https://www.dnp.co.jp/ |
| 創業 | 1876年(明治9年)10月9日 |
| 設立年月日 | 1894年(明治27年)1月19日 |
| 資本金 | 1,144億6,476万円 |
| 発行済株式総数 | 324,240,346株(自己株式43,348,232株を含む) |
| 株主数 | 24,917名(2020年3月31日現在) |

株主メモ

| | |
|-----------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会開催時期 | 6月 |
| 上記総会における議決権の基準日 | 3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。 |
| 剰余金の配当基準日 | 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告方法 | 電子公告により行います。 (当社のウェブサイト https://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |

株式事務に関するご案内

1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式 株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
 - 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
 - (お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
- ※ご転居の際には、住所変更のお手続きを、必ずお願い申し上げます。

※単元未満株式に関するお知らせ

100株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(100株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買増請求につきましても、お取り扱いしております。

2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

●表紙のデザインについて

『未来へのつながり』をコンセプトに、多様な事業領域へのつながりと、企業理念「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。」を象徴化した、DNPならではの「つながり」を表現しています。

●株主通信「DNP Report」に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室

〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 TEL : 03-3266-2111(大代表)

※株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。
記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。
※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。